

図書館だより

宮城県仙台三桜高等学校
司書版 No.11
2024.02.26



↑蔵書検索QR
コードサンプル



本屋大賞2024年ノミネート作品発表

20回目の本屋大賞のノミネート作品が発表されました。重い作品やじんわり来る作品、ファンタジー、ミステリーなど本がそろっています。大賞の発表は4月10日です。さて、今年の大賞は誰が取る！？

《蔵書点検の報告》

全蔵書約36,000冊のうち23冊が行方不明です。行方不明の原因として考えられるのは三つです。

- ①貸出時のPC操作ミス(または、PCのトラブル)
- ②司書の不在時に借り方が分からなくて、持ち出してしまった
- ③多くの蔵書の中に紛れてしまい、探せなかった

右は行方不明になっている本のリストです。見つけた方は返却ボックスまたはカウンターに届けてください。

読書履歴を印刷します。

今年、自分がどんな本を読んだか知りたい人は司書に連絡してください。読書履歴を印刷します。

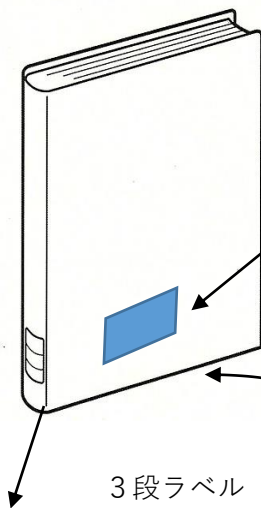
【令和5年度に新たに 行方不明になった図書】

- ① 913.6ヒ『幕が上がる(講談社文庫)』
平田オリザ(著)
講談社 2014年

見つけたら教えて下さい。

昨年度、行方不明になった図書も見つかっていません。
『火の鳥(角川文庫 全13巻)』
『数学が好きになる数の物語100話(ニュートンプレス刊)』
『超・超面白くて眠れなくなる数学(PHP研究所刊)』
『宮沢賢治全集(8~12巻)』

年度末の教室・部室、ロッカー整理の時に見つかる事があります。空きロッカーも見てください。



「仙三桜高図書館」
または
「宮城県第三女子高校」
のバーコード

「仙三桜高図書館」
のハンコ

3段ラベル

913.6
ヒ

裏面は「2024本屋大賞ノミネート作品」紹介です。貸出中の場合にはカウンターで予約してください。→

芥川賞
『東京都同情塔』九段理江(著)新潮社
建築家マキナは豪華な刑務所「シンパシータワートーキョー」を建てた。犯罪者に寛容な近未来の社会を描いた作品。

直木賞
『ともぐい』岡崎秋子(著)新潮社
自分の力を頼みに生きる猟師とクマとの闘い、そして不思議な女との関わり。生きものとしての「人間」を描いた骨太な作品。

『八月の御所グラウンド』万城目学(著)文藝春秋
草野球のグラウンドに、助っ人としてやってくる選手たちとの幻の出会い。爽やかな読後感の作品。

本屋大賞2024ノミネート作品

エンターテインメント的小説のほか、現代の世相を連想させる作品が多数あります。 ※作品名の50音順に配列しています。

黄色い家

NO IMAGE

川上未映子（著）
中央公論新社

君が手にするはずだった黄金について

NO IMAGE

小川哲（著）
新潮社

水車小屋のネネ

NO IMAGE

津村記久子（著）
毎日新聞出版

スピノザの診察室

NO IMAGE

夏川草介（著）
水鈴社

存在のすべてを

NO IMAGE

潮田武士（著）
朝日新聞出版

黄色い家 川上未映子（著） 中央公論新社

「お金」と「家」。40年前の知り合いが新聞に載った。お金の為に集まった疑似家族が狂っていく様子を描くサスペンス。

君が手にするはずだった黄金について 小川哲（著） 新潮社

どこが嘘（フィクション）でどこが現実か？あなたは作家の嘘の中に見え隠れする真実を見つけられるか？

水車小屋のネネ 津村記久子（著） 毎日新聞出版

母に短大の入学金を使い込まれた理佐は、妹と二人で家を出た。何も持たない暮らしだったけれど、親切な人には恵まれた。温かな小説。

スピノザの診察室 夏川草介（著） 水鈴社

「人の幸せはどこからくるのか」医師・雄町哲郎は問う。医療の限界を知り、人の営みをありのままに見つめる彼のような医師に出会いたい。

存在のすべてを 塩田武士（著） 朝日新聞出版

誘拐された男の子が3年後祖父母のもとに帰ってきた。一体何があったのか？新聞記者が空白の3年間を埋めていく。

成瀬は天下を取りに行く

NO IMAGE

宮島未奈（著）
新潮社

ミステリクラブ

NO IMAGE

知念実希人（著）
ライツ社

星を編む

NO IMAGE

凧良ゆう（著）
講談社

リカバリー・カバヒコ

NO IMAGE

青山美智子（著）
光文社

レーエンデ国物語

NO IMAGE

田崎礼（著）
講談社

成瀬は天下を取りに行く 宮島未奈（著） 新潮社

「今年の夏は西武に捧げようと思う」成瀬は文武両道だが変わり者。しかし彼女のまっすぐな姿勢に周囲は引き込まれて行く。

ミステリクラブ 知念実希人（著） ライツ社

はじめて児童書がノミネートされた。でも、作家は知念実希人。大人小説の手法でしっかり書かれた親子で楽しめるミステリー。

星を編む 凧良ゆう（著） 講談社

昨年の本屋大賞受賞作『汝星のごとく』の続編。本編で語られなかった北原先生の過去や主人公のその後が描かれている。

リカバリー・カバヒコ 青山美智子（著） 光文社

日の出公園のカバヒコ（アニマルライド）には、人を癒す力がある。悩みを抱えた人々が今日もカバヒコに会いに来る。

レーエンデ国物語 田崎礼（著） 講談社

全5巻のレーエンデ国物語のプロローグは神話時代。後に「聖女ユリア」と呼ばれる少女は父と共に、レーエンデに旅立つ。既刊3巻。2024年中に完結する予定。